

令和3年度  
浜田市と島根県立大学の共同研究事業報告書

## 地域のタクシー事業が果たす役割と課題

令和4年3月

島根県立大学 総合政策学部

松田ゼミ

浜田市金城町のタクシー事業者が2020年末をもって休業  
金城町の住民の生活への影響が危惧された

公共交通 ≠ 不特定多数の人が、**乗り合っ**て利用する交通機関？  
(バスや鉄道など)

= 不特定多数の人が、**所定の運賃を支払えば自由に**  
利用することができる交通機関 (タクシーも含まれる)

公共交通に関する法律でも、タクシーが公共交通と定義

タクシー事業 = エッセンシャル・サービス



必要不可欠な、とても重要な

地域を支える必要不可欠な公共交通であるタクシーについての  
基礎的調査

2020年12月末に、浜田市金城町にあるタクシー事業者が休業されました。休業に伴い、金城町に住む住民の生活への影響が心配されました。

タクシーは、日々の生活の移動を支える大切な公共交通です。

これまで、公共交通というと、バスや鉄道など、多くの人が乗り合っ

て利用するものというイメージがあったかと思います。加えて、比較的安価に利用できる交通機関というイメージもあ

ったかと思いますが、一方で、タクシーは、1人、あるいは1グループで貸し切っ

て利用するもので、かつ運賃が比較的高いこともあって、あまり公共交通として認識されてい

なかったように思います。しかし、日本における公共交通は、簡単に言うと、不特定多数の人が、所定の運賃を支払えば、自由に利用

することができる交通機関とされています。この不特定多数の人というのは、「誰でも」という意味で、誰もが決められた運賃を支払うことで自由に利用ができるのが公共交通なのです。

公共交通に関連する法律でも、タクシーが公共交通として定義されています。

駅やバス停から離れた場所に住む方、その中でも特に、自分で自動車を運転できない方の中には、タクシーが唯一の公共交通手段という方もいらっしゃいます。

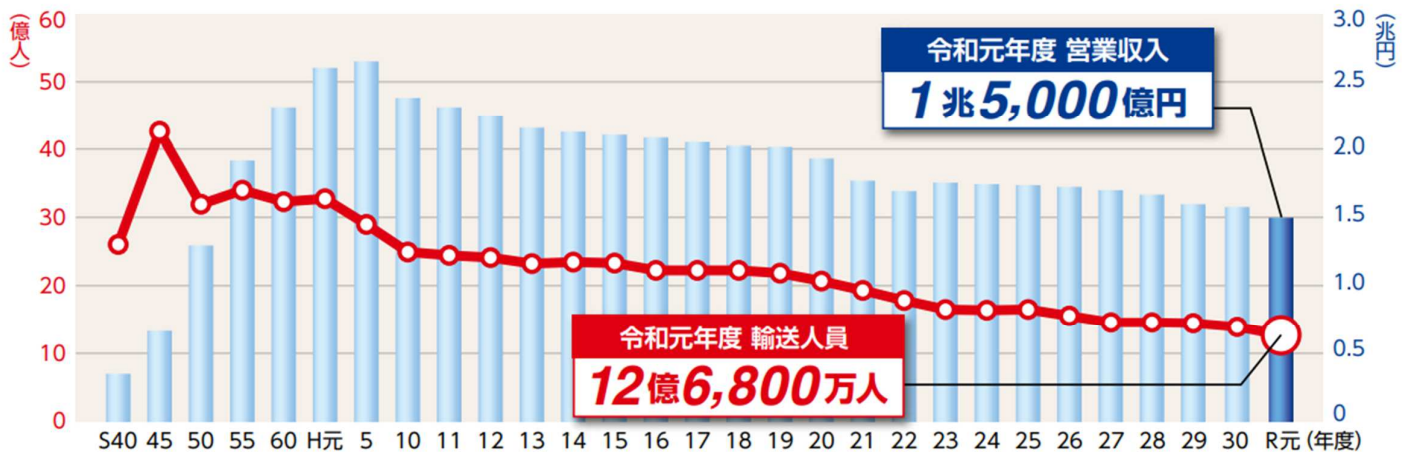
社会機能を維持するために必要な業務に従事している人をエッセンシャルワーカーと呼びますが、そういう意味では、タクシーは社会機能を維持するために必要なエッセンシャルサービスとも言えるか

と思います。しかし、これまで公共交通、とりわけ浜田市の公共交通というと、バスなどの乗り合いの交通機関が中心だと認識されて

# タクシー業界の課題

1. 輸送人員と営業収入の減少
2. 運転手不足、運転手の高齢化

## タクシー輸送人員と営業収入



(注) 輸送人員については、東日本大震災の影響により北海道運輸局及び東北運輸局管内の平成23年3月、4月の数値は含まない。  
資料：ハイヤー・タクシー年鑑2021/自動車輸送統計年報(令和元年度)

出典：全国ハイヤー・タクシー連合会「TAXI TODAY in Japan 2021」

2

まずはタクシー事業が抱える課題について簡単に説明します。

ここでは、全国的な状況について、全国ハイヤー・タクシー連合会が発行している資料を引用します。

まず、タクシー業界が抱える課題にはいくつかありますが、その中でも大きな課題が、輸送人員、営業収入の減少と、運転手不足、運転手の高齢化が挙げられます。

輸送人員と営業収入の減少から見ていきたいと思いますが、全国ハイヤー・タクシー連合会の資料によると、赤の折れ線で示されたタクシーの輸送人員は、右肩下がりで推移していることがわかります。

緩やかに減少しているようにも見えますが、約30年前の平成元年度が、30億人を超えているのに対して、令和元年度は半分以下の12億人程度にまで減少しています。

令和元年度のデータですので、コロナウイルスの影響はあまりありません。

コロナに関係なく、タクシーの輸送人員は減少傾向が続いていることがわかります。

それと同じく、青色の棒グラフで示された営業収入も減少傾向が続いています。

利用者の減少とそれによる営業収入の減少により、タクシー業界は大変厳しい状況にあることが、このグラフからもわかるかと思えます。先ほども述べた通り、これはコロナの影響を受ける前までの状況です。

この2年間、コロナウイルスの感染拡大の影響で、さらに厳しい状況にあることは言うまでもありません。

3

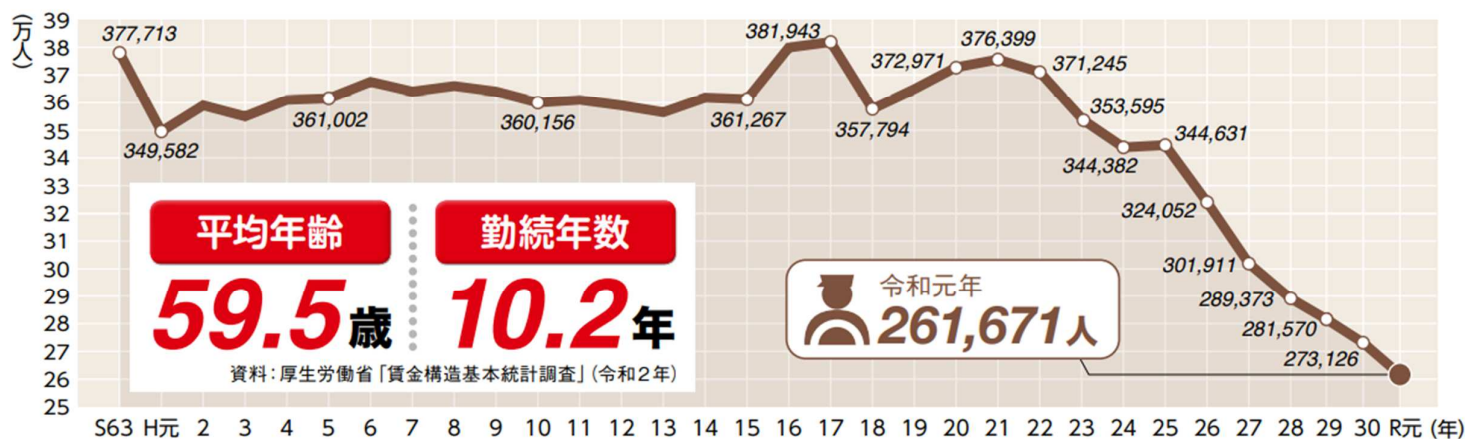
# タクシー業界の課題

1. 輸送人員と営業収入の減少
2. 運転手不足、運転手の高齢化



## 運転者数の推移 (法人)

(タクシー運転者は二種免許が必要です。)



出典: 全国ハイヤー・タクシー連合会「TAXI TODAY in Japan 2021」

タクシー業界が抱える大きな課題の2つ目は、タクシー運転手不足と、運転手の高齢化です。

こちらのグラフも全国ハイヤー・タクシー連合会の資料から引用したのですが、タクシー運転手の数も、特にこの10年くらい間に急激に減少していることがわかります。

10年ほど前は37万人いた運転手が、26万人程度にまで減少しています。

加えて、運転手の平均年齢は、59.5歳となっています。

近年は定年延長もあって、少し状況は変わっているかとは思いますが、一般的な企業の定年年齢は、少し前までは60歳が一般的でした。

今のタクシーの運転手の平均年齢は、およそ60歳ですから、ほとんどの人が定年に近い年齢の人であると考えられます。

高齢の運転手が歳を重ね、仕事を続けることが難しくなり退職する。そこに新しい人が入ってきてくれば運転手の数は変わりませんが、なかなか運転手のなり手がいない。

特に若い人がタクシーの運転手になってくれないことが、運転手不足と高齢化の原因として考えられます。

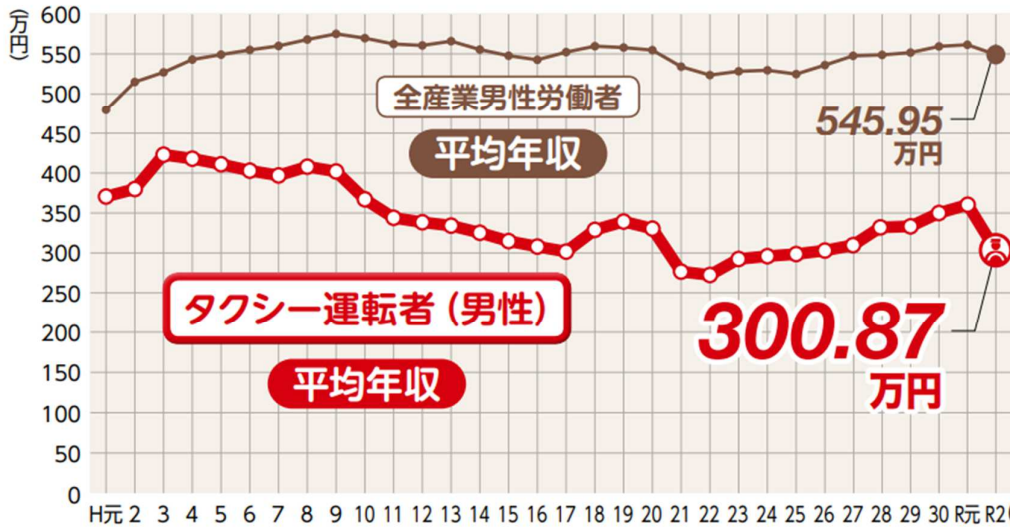
これは、タクシーに限らず、バスでも同様なことが問題となっています。その要因としてもいろいろと考えられますが、その一つが、運転手の賃金にあると言われてしています。

# タクシー業界の課題

1. 輸送人員と営業収入の減少
2. 運転手不足、運転手の高齢化



## 年間賃金水準



	全産業	タクシー
平成元年	479.53万円	370.63万円
5年	549.16	411.03
10年	569.68	367.16
15年	547.81	314.82
20年	550.39	326.32
22年	523.02	278.25
23年	526.76	291.19
24年	529.68	296.12
25年	524.10	298.02
26年	536.04	302.25
27年	547.70	309.76
28年	549.43	332.01
29年	551.74	333.29
30年	558.45	348.32
令和元年	560.97	360.38
令和2年	545.95	300.87

資料：厚生労働省

「賃金構造基本統計調査(各年6月調査)」より推計

出典：全国ハイヤー・タクシー連合会「TAXI TODAY in Japan 2021」

こちらのグラフは、タクシー運転手の平均年収を示したもので、こちらも全国ハイヤー・タクシー連合会の資料からの引用です。

タクシー運転手、このデータは男性だけに限ったものですが、赤色がタクシー運転手の平均年収、上側の折れ線が全産業の平均年収を表しています。

平成元年からのデータですが、一貫して、タクシー運転手の年収が、全産業の平均に比べて低いことがわかります。

年収が低く、不規則な勤務形態などから、特に若い人にとっては、あまり魅力を感じる事が難しいのだと思います。

運転手がいなくなると、当然タクシー事業を継続することはできませんので、いかに運転手を確保するか、特に若い運転手を確保するかが、大きな課題となっています。



## タクシーがなくなるとどうなるか

経営的にも厳しい状況に置かれているタクシー業界

コロナウィルスの感染拡大が、その状況に追い打ちをかけた

全国でもタクシー事業者の休業は廃業が相次いでいる

浜田市金城町のタクシー事業者が2020年12月末に休業

金城町の唯一のタクシー事業者の休業とあって、住民の生活への影響が危惧された

金城町の住民はタクシーが利用できなくなるのか？

8

このような厳しい経営状況におかれているタクシー業界にあって、さらにコロナウィルスの感染拡大が追い打ちをかけることとなりました。

全国でもタクシーの休業や廃業が相次いでいます。

こうした中、冒頭でも述べたように、金城町のタクシー事業者が2020年12月末で休業することとなりました。

この休業したタクシー事業者は、金城町にある唯一のタクシー事業者でした。

社会的機能を維持するために必要不可欠なタクシーが休業することは、住民への生活に大きな影響を及ぼすことが考えられます。

ここからは、金城町のタクシー事業者の休業による影響を考えてみたいと思います。

まず、まっさきに思い浮かぶのが、金城町の住民はタクシーを利用できなくなるのかということだと思えます。まずはその点から考えてみたいと思います。

9

# 金城町の住民はタクシーが利用できないのか？

浜田市全域を営業区域とするタクシー事業者が存在する限り、  
タクシーを利用することができる

## 道路運送法

他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業（バスやタクシー等）を管理する法律

## 道路運送法 20条（禁止行為）

一般旅客自動車運送事業者は、発地及び着地のいずれもがその営業区域外に存する旅客の運送をしてはならない。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。

## 道路運送法 13条（運送引受義務）

一般旅客自動車運送事業者（一般貸切旅客自動車運送事業者を除く。次条において同じ。）は、次の場合を除いては、運送の引受けを拒絶してはならない。

10

結論から言うと、浜田市全域を営業区域とするタクシー事業者が存在する限り、金城町の住民もタクシーを利用することができます。

このことは、道路運送法という法律から示すことができます。道路運送法とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業（バスやタクシー等）を管理する法律です。

タクシーには営業区域というものが設定されています。浜田市の場合は、基本的には浜田市全域が一つの営業区域となります。

道路運送法20条では、営業区域外で運送をしてはならないとされていますので、営業区域内にタクシー事業者が一つもなければ、その区域内の人はタクシーを利用することができないこととなります。ただ、浜田市には、まだ複数のタクシー事業者が存在します。金城町は浜田市の一地域ですので、金城町の住民もタクシーを利用することができるということになります。

ただ、浜田市のタクシー事業者の多くが、合併前の旧浜田市に営業所を構えています。そうすると、金城町までは距離があるので、来てもらえないのではないかと心配される方もいるかもしれません。実は、営業区域内であれば、営業所からの距離が遠いという理由で、サービスの提供を拒否することはできないことになっています。

これも道路運送法の中で規定されているのですが、道路運送法第13条に、特別な場合を除いては、運送の引き受けを拒絶してはならない。と明記されているのです。

特別な場合について、ここでは一つ一つは紹介しませんが、例えば、爆発物などの危険なものを持っているとか、泥酔して車内を汚す恐れがある場合とか、定員オーバーで無理に乗車しようとしているとか、そういった場合のみ断ることができますが、営業区域内において、遠いところから呼ばれたからという理由で断ることは、この道路運送法違反になりますので、できないことになっています。

以上のことから、金城町の住民もタクシーを利用することができるのです。

11

## 金城支所で待機するタクシー

浜田市内のタクシー事業者が、金城支所駐車場で車両を待機  
休業したタクシー事業者の営業所は、金城支所のすぐ近く

呼び出し営業（営業所等に待機して利用者からの呼び出しに応じて  
配車）が主体であるため、住民がタクシーを利用する際の待ち時間  
が大幅に増えることはない

待機している車両が出払った場合  
には、浜田市内から配車

営業所から10分弱（約8km）  
浜田駅から15分弱（約10km）

金城支所で待機するタクシー  
2021年8月31日撮影



12

加えて、現在は、浜田市内のタクシー事業者が、金城支所の駐車場で車両を待機させて、金城町のお客さんに迅速に対応できるようにしています。

休業したタクシー事業者の営業所は、金城支所のすぐ近くにあります。

大都市部と違い、地方のタクシーは、呼び出し営業が主流です。

呼び出し営業とは、タクシーが営業所などに待機していて、利用者から電話などにより呼び出しを受けて配車するものです。

そのため、休業したタクシー事業者とほぼ同じところで車両が待機していて、利用者からの呼び出しに応じれば、金城町の住民がタクシーを利用する際に、配車にかかる待ち時間が大幅に増えることはありません。

金城支所で待機している車両が出払ってしまった場合には、浜田市内から配車をして対応しています。

この支所で待機している事業者の営業所は、支所から約10分程度の距離にあります。また、支所から浜田駅までは15分程度の距離があります。営業所や浜田駅で待機している車両を呼び出した場合には、これまでよりも10分～15分程度待ち時間が増えることとなります。

ただし、これは、支所で待機している車両が、他のお客さんを運送している場合に限りませんので、常にこれまでよりも待ち時間が増えるということではありません。

このように、タクシー事業者の協力により、金城支所で車両を待機させることで、金城町に住まわれている方も、これまでとほぼ同じようにタクシーを利用することができます。

13



# 金城青原地区での聞き取り調査

2021年8月31日

金城町青原地区で行われている高齢者サロン（手芸の会）

日ごろの移動手段や移動先、バスやタクシーの利用状況

60代～80代の女性11名（免許非保有者4名）

タクシーを頻繁に利用している人はいない ← 運賃が高いため

金城町のタクシー事業者の休業の影響

はほとんど感じていない

ただし、緊急の場合にすぐに来てもらえるか心配

金城町内だけの利用にためらいがある  
（少し申し訳ない気がする）



14

唯一の懸念点としては、場合によっては、待ち時間が15分程度、これまでよりも増えることもある、ということです。

さらに影響について調査するために、実際に金城町に住んでいる方にお話を伺いました。

2021年8月31日に、金城町の青原地区で行われている高齢者サロンにおじゃまして、日ごろの移動手段や移動先、バスやタクシーの利用状況についてお話を伺いました。

ここでは、タクシーのことだけに絞って簡単に結果を述べます。

まず、お話を伺ったのは、60代から80代の女性11名でした。このうち、免許を持っていない方が4名いらっしゃいました。免許を持っている7名の方は、ご自身でも運転をされているということでした。ですので、タクシー事業者の休業により特に影響を受けると考えられるのは、免許非保有者の4名ということになります。

タクシーの利用状況について尋ねたところ、基本的に、タクシーはほとんど利用しないということでした。徒歩での移動やバスを利用するとのことでした。タクシーを利用しない理由は、やはり運賃が高いということでした。ですので、今回の調査では、頻繁にタクシーを利用する方からお話を伺うことはできませんでしたが、金城町のタクシー事業者が休業した後にタクシーを利用した人からは、特に不便は感じなかったと回答がありました。

ただ、緊急の場合にすぐに来てもらえるか心配との声も聞かれました。

加えて、金城町内の短い距離での利用に、「少しためらいがある」「申し訳ない気がする」という方もいらっしゃいました。

こうした回答があったことから、町内のタクシー事業者が休業したことにより、心理的な影響が少しあることがわかりました。あとは、やはり金城町のタクシー事業者の方が、町内の地理に詳しいこともあると思いますので、その点でも影響があるかもしれません。

15

## まとめ

金城町のタクシー事業者の休業による大きな影響は、市内の別の事業者の協力により、いまのところ確認できませんでした。

可能性として、待ち時間が増えたり、地理に不案内であるといったこともあり得ますし、短距離での利用に若干のためらいを感じることもあるかもしれません。

今回の休業による影響は、あまり大きなものではなさそうですが、タクシー業界を取り巻く厳しい状況がさらに続けば、休業や廃業となる事業者が出てくるかもしれません。

そうすると、本当に必要なときに、タクシーを利用できなくなる可能性も高くなってしまいます。さらに最悪の場合には、浜田市からタクシー事業者がいなくなってしまう可能性もゼロではありません。

そうならないようにするためにも、地域のタクシーを支え、守っていく必要があります。

路線バスには国や県、市による赤字補填の制度がありますが、タクシーにはそのような制度は整備されていません。市が単独で補助をすることも不可能ではないかもしれませんが、財源の問題もあるので簡単ではありません。

16

タクシーに限らず、公共交通は、本当に必要とする人に利用してもらい、事業者を支え、守ることが重要ではないかと考えます。

利用されないままの公共交通を、補助金だけで維持し続けるよりも、同じお金を使うのであれば、例えば、本当に必要とする人へ運賃を補助することにより、より多く利用してもらった方が、利用者、事業者双方にとってメリットがあります。

タクシーの場合は、特に運賃が高額になりがちなので、その負担をいかに軽減するかが、利用を拡大するためには重要になってきます。

浜田市には、敬老福祉乗車券というものがあります。お隣の江津市の桜江町では、相乗りタクシーという事業が行われています。いずれも、利用者の運賃負担を軽減するよい取り組みです。

また、浜田市では2021年10月から、あいのりタクシー等運行支援事業というものを開始しました。この制度も運賃負担を軽減し、より公共交通を利用してもらいやすくする制度です。

タクシーを含む公共交通を、本当に必要とする人に利用してもらって、事業者を支えていく仕組みを今後も考えていかなければなりません。

今後も、公共交通としてのタクシーをどう支え、守っていくかを考えていきたいと思えます。

17